

第2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価						評価委員会評価				
		計画達成の状況						項目別評価	評価における特記事項			
第1	大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	9	B	130	C	3	D	0	II		
	一部計画を下回っているが、概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。											
1	教育に関する目標を達成するための措置	A	6	B	56	C	2	D	0	II		
	一部計画を下回っているが、概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。											
(1)	教育の成果に関する目標を達成するための措置	A	3	B	18	C	1	D	0	II	中期目標の数値目標(国家試験の合格率)について、医師国家試験及び保健師国家試験では数値目標を達成し、看護師国家試験ではわずかに及ばなかった。 医師 実績95.2% (目標 95%、全国92.6%) 保健師 実績96.7% (目標 95%、全国89.7%) 看護師 実績98.8% (目標100%、全国89.7%)	
	「コミュニケーション論」(2年前期必修)において、模擬患者さんが加わった実践的な授業を行うなど、概ね計画どおり実施した。											
	(2)	教育内容等に関する目標を達成するための措置	A	1	B	27	C	1	D			0
		総合科学系科目において生命科学・社会医学系、臨床医学系の教員が一部分を担当するなど、総合科学と基礎医学・臨床医学とを関連づけた横断的、統合的な授業を行うなど、概ね計画どおり実施した。										
(3)	教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置	A	1	B	6	C	0	D	0			
	長期休業期間を利用し、主に医療人育成・支援センターが主体となって、10個のプログラムからなる「地域交流事業」を地域とともに取り組むなど、概ね計画どおり実施した。											
(4)	学生への支援に関する目標を達成するための措置	A	1	B	5	C	0	D	0			
	メンタル面のサポートが必要な学生については、大学健康管理センター所属のカウンセラーと医学学生部長・学生課が連携を図りながら対応するなど、概ね計画どおり実施した。											
2	研究に関する目標を達成するための措置	A	0	B	24	C	1	D	0	II		
	一部計画を下回っているが、概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。											
(1)	研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置	A	0	B	12	C	1	D	0	II	文部科学省及び独立行政法人科学技術振興機構(JST)の地域産学官共同研究拠点整備事業に大学が提案した個別がん医療用新規抗がん剤・診断薬の創薬を中心とする「ふくしま医療一産業リエゾン支援拠点」整備事業が採択されたことから、同研究施設・設備等の整備について、県・JST等と協議を進めたことについて評価できる。	
	研究支援事業により、次世代を担う研究に発展しうる萌芽的研究の育成、国際的な競争力を持つ若手研究者の育成に努めるなど、概ね計画どおり実施した。											

第2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価		
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項	
	(2)	研究実施体制等の整備に関する目標を達成するための措置	A	0	B	12	C	0	D	0	II	
		各講座等が共通で使用する研究機器の修繕及び保守委託の経費を外部資金の間接経費で負担し、研究機器の効果的な利用に努めるなど、概ね計画どおり実施した。										
	3	地域貢献に関する目標を達成するための措置	A	2	B	16	C	0	D	0	II	
		概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。										
	(1)	教育研究における地域社会や県政との連携・協力に関する具体的方策	A	2	B	4	C	0	D	0	II	
		地域の医療施設等との連携・協力により、臨床実習や臨床研修を行うなど、概ね計画どおり実施した。										
	(2)	地域医療の支援に関する具体的方策	A	0	B	5	C	0	D	0	II	平成22年4月から、相双医療圏の医療機関に対し、地域医療再生支援教員12名を派遣し、支援を行うなど、概ね計画どおり実施した。
		地域保健の支援に関する具体的方策	A	0	B	2	C	0	D	0	II	
	(4)	地域産業の振興に関する具体的方策	A	0	B	4	C	0	D	0	II	他大学との共同研究等を推進するため、県内国公立大学間による「アカデミアコンソーシアムふくしま地域連携部会」に参画し、他大学や企業との情報交換や相互交流体制を強化して、産学連携の推進に努めたことについて評価できる。
(5)	地域貢献の評価に関する具体的方策	A	0	B	1	C	0	D	0	II	専門看護師、認定看護師が県内の医療施設や県看護協会主催の介護研修の講師として、各種分野で貢献していることについて評価できる。	

第2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
4	国際交流に関する目標を達成するための措置	A	0	B	5	C	0	D	0	II	
		概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。									
(1)	留学生交流、その他諸外国の大学・研究機関等との教育研究上の交流に関する具体的方策	A	0	B	5	C	0	D	0	II	武漢大学(中国)との国際学術交流協定に基づき、4年生4名が1ヶ月以上留学するなど、学生間の国際交流を通じて相互理解、信頼関係の醸成に努めたことについて評価できる。
		医学部学生4名を約1か月にわたり、中国武漢大学に留学させる等、外国の大学等との交流、連携、協力活動を推進するなど、概ね計画どおり実施した。									
5	大学附属病院に関する目標を達成するための措置	A	1	B	29	C	0	D	0	II	
		概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。									
(1)	1 良質な医療人の育成に関する具体的方策	A	0	B	4	C	0	D	0	II	スキル・ラボラトリーにおいて、卒前から卒後までのシミュレーター教育研修の充実が図られていることについて評価できる。
		スキルラボにおいて、卒前から卒後までのシミュレーター教育研修の充実を図るなど、概ね計画どおり実施した。									
(1)	2 高度で先進的な医療の研究・開発とEBMの推進に関する具体的方策	A	0	B	6	C	0	D	0	II	従来院内防災訓練に加え、病院全体によるトリアージ訓練(災害などで多数のけが人が発生した場合、患者のけがの程度で治療の優先順位を決める訓練)を実施したことについて評価できる。
		EBMの推進を図るため、総合医療情報システムの機能向上に努めるなど、概ね計画どおり実施した。									
(2)	高度で先進的な良質な医療の提供に関する具体的方策	A	1	B	3	C	0	D	0	II	ドクターヘリ症例検討会を開催し、有効で効果的な運用について検討したことについて評価できる。
		県内5方部でドクターヘリ症例検討会を開催し、有効で効果的な運用について検討するなど、概ね計画どおり実施した。									
(3)	患者の安全管理と患者サービスの向上に関する具体的方策	A	0	B	8	C	0	D	0	II	患者サービスの向上のため、病棟や病院内の諸設備について改修を行い、患者や家族のアメニティ(快適さ)の向上に努めたことについて評価できる
		老朽化した小児科プレイルームのテレビの更新、DVDの購入等を行うとともに、各病棟トイレにペーパータオルを設置するなど、概ね計画どおり実施した。									

第2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価				
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項			
		A	0	B	3	C	0	D	0					
	(4)	地域との連携に関する具体的方策		地域医療機関との機能分担による医療提供体制の整備等のための調査・検討について、各種会議や講演会等において情報収集に努めるなど概ね計画どおり実施した。								II		
	(5)	安定的かつ効果的な病院経営に関する具体的方策		医事業務（会計・レセプト点検）フローの再構築を実施するなど、概ね計画どおり実施した。								II		
	(6)	会津医療センター（仮称）に関する具体的方策		会津医療センター準備室を4月1日付けで設置し、12月1日現在すでに9名の医師を配置するなど、概ね計画どおり実施した。								II	会津医療センター（仮称）の附属化に向け、会津医療センター準備室を設置し、平成22年度中に数名の医師を配置するなど、開設準備を進めたことについて評価できる。	
第2	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置		A	1	B	33	C	1	D	0	概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。		II	
	1	運営体制の改善に関する目標を達成するための措置		A	0	B	7	C	0	D	0	概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。		II
	(1)	効果的な組織運営に関する具体的方策		22年度から委嘱された顧問は折に触れて理事長のリーダーシップを側面から支援するなど、概ね計画どおり実施した。								II	平成22年度から委嘱された顧問は折に触れて理事長のリーダーシップの側面から補佐したことについて評価できる。	
	(2)	全学的視点からの戦略的な学内資源配分に関する具体的方策		若手研究者の育成に寄与する研究事業に対して重点的に支援を行うなど、概ね計画どおり実施した。								II	次世代を担う研究に発展しうる萌芽的研究の育成、国際的な競争力を持つ若手研究者の育成に努めたことについて評価できる。	
2	教育研究組織の見直しに関する目標を達成するための措置		A	0	B	6	C	0	D	0	概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。		II	

第2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価			
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項		
		A	0	B	6	C	0	D	0				
	(1)	教育研究組織の編成・見直しのシステムに関する具体的方策		看護学部では、新カリキュラムの実施に対応するため、部門再編成を行うことを検討、決定するなど、概ね計画どおり実施した。								II	看護学部において、新カリキュラムに対応するための部門再編成を行うことを決定したことは評価できる。
	3	教職員の人事の適正化に関する目標を達成するための措置		A	1	B	11	C	1	D	0	II	
	(1)	人材の確保に関する具体的方策		A	1	B	9	C	0	D	0	II	他大学の職員研修実施状況を調査して、法人独自の研修計画を策定し、平成22年度から着実に実施したことについて評価できる。
	(2)	非公務員型を生かした柔軟かつ多様な人事システムの構築に関する具体的方策		A	0	B	2	C	1	D	0	II	
	4	事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置		A	0	B	9	C	0	D	0	II	
	(1)	事務組織の機能・編成の見直しに関する具体的方策		A	0	B	4	C	0	D	0	II	企画財務課の課内室として「ふくしま医療一産業リエゾン推進室」の組織体制の充実を図ったことについて評価できる。
	(2)	事務等の効率化に関する具体的方策		A	0	B	5	C	0	D	0	II	
第3		財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置		A	0	B	13	C	1	D	0	II	

第2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
1	外部研究資金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置	A	0	B	6	C	1	D	0	II	文部科学省科学研究費補助金等の採択金額は、平成20年度と比較して平成22年度は約34%増加するなど、概ね計画どおり実施した。
2	経費の節減に関する目標を達成するための措置	A	0	B	5	C	0	D	0	II	時間外消灯等の光熱水費の徹底した進行管理や役員会における会議資料のペーパーレス化などに取組み、経費節減を図ったことについて評価できる。
3	資産の運用管理の改善に関する目標を達成するための措置	A	0	B	2	C	0	D	0	II	教育環境の改善を図るため、生理公衆学実習室の冷房工事をを実施するなど、概ね計画どおり実施した。
第4	教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	2	B	9	C	0	D	0	II	概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。
1	自己点検・評価の実施に関する具体的方策	A	1	B	4	C	0	D	0	II	大学評価・学位授与機構が実施する大学認証評価や県が行う法人評価に適切に対応するなど、概ね計画どおり実施した。
2	第三者評価の実施に関する具体的方策	A	1	B	1	C	0	D	0	II	大学認証評価を受審した結果、大学設置基準等の関係法令に適合し、独立行政法人大学評価・学位授与機構の定める大学評価基準を満たすとの評価とともに、医療人育成・支援センターの取組み等を中心に高い評価を得たことについて評価できる。

第2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
3	評価結果の活用に関する具体的方策	A	0	B	4	C	0	D	0	II	公立大学法人評価委員会による法人評価結果をホームページで公開するとともに、大学認証評価等で改善を求められた事項について、評価室、役員会等で担当役員等からの説明及び定期的な報告を求め、改善を促したことについて評価できる。
第5	教育及び研究並びに組織及び運営の状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置	A	0	B	4	C	0	D	0	II	
1	大学情報の積極的な公開・提供及び広報に関する具体的方策	A	0	B	4	C	0	D	0	II	企画室の広報・公開プロジェクトチームにおいて、大学総合パンフレット(日本語版、英語版)の作成を行ったことについて評価できる。
第6	その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	A	0	B	9	C	0	D	0	II	
1	施設設備の整備・活用等に関する目標を達成するための措置	A	0	B	3	C	0	D	0	II	
2	健康管理・安全管理に関する目標を達成するための措置	A	0	B	6	C	0	D	0	II	医師をはじめ複数の医療職を配置した大学健康管理センターにおいて、職員及び学生の定期健康診断を実施するとともに、医療人育成・支援センターの臨床心理士の資格を持つ教員が、大学健康管理センター兼務となり、メンタルヘルスに関する相談業務を行ったことについて評価できる。
第1～第6 (計215項目)		A	12	B	198	C	5	D	0	II	

注1:自己評価の考え方

- A・・・年度計画を上回って実施している
- B・・・年度計画を予定どおりに実施している(達成度がおおむね90%以上)
- C・・・年度計画を下回って実施している(達成度がおおむね60%以上90%未満)
- D・・・年度計画を大幅に下回っている、または実施していない(達成度が60%未満)

注2:評価委員会の評価の考え方

- I・・・年度計画を十分に実施できている
- II・・・年度計画をおおむね実施できている
- III・・・年度計画を十分に実施できていない
- IV・・・年度計画を実施できていない